

科目名	内部障害基礎論	担当教員	森野陽 ※印は実務経験のある教員を示す。			
-----	---------	------	-------------------------	--	--	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	2年次	前期	2単位	講義

科目概要	心臓疾患・肺疾患・腎臓機能障害といったリハビリテーションでかかわることが多い内科疾患全般について、原因や病態を学び、その発生機序および治療過程全般を学習する。またそれぞれの疾患における、診断基準、診断のための各種理学的検査や生理検査、臨床症状について学ぶ。さらに内科疾患による障害像を理解し、各疾患の内科的治療、その中におけるリハビリテーションの役割や方法に関して基礎的理解を深める。
------	--

学習目標	リハビリテーションに関連する呼吸器疾患、循環器疾患、血液疾患、消化器疾患、アレルギー疾患、自己免疫疾患、代謝疾患、腎疾患、内分泌疾患に関する病態ならびに症状を理解し、説明できる。
------	---

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論、呼吸器疾患(1)	オリエンテーション、内部障害の概要、呼吸器感染症の病態と症状	内部障害の概要、呼吸器感染症の病態と症状を理解できる。	
2	呼吸器疾患(2)	呼吸不全、COPDの病態、症状	呼吸不全、COPDの病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
3	呼吸器疾患(3)	喘息、間質性肺炎、気胸、肺結核後遺症の病態と症状	喘息、間質性肺炎、気胸、肺結核後遺症の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
4	呼吸器疾患(4)	誤嚥性肺炎、医療介護関連肺炎、その他の呼吸器疾患の病態と症状	誤嚥性肺炎、医療介護関連肺炎、その他の呼吸器疾患の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
5	循環器疾患(1)	心不全、虚血性心疾患の病態と症状	心不全、虚血性心疾患の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
6	循環器疾患(2)	弁疾患、不整脈の病態と症状	弁疾患、不整脈の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
7	循環器疾患(3)	大血管疾患、末梢性動脈疾患、深部静脈血栓症の病態と症状	大血管疾患、末梢性動脈疾患、深部静脈血栓症の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
8	循環器疾患(4)まとめ(1)	先天性心疾患の病態と症状、呼吸困難、浮腫	先天性心疾患の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。呼吸困難、浮腫のメカニズムを理解できる	
9	血液疾患	血液疾患の病態と症状	貧血、多血症、血友病、白血病などの病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
10	消化器疾患	肝炎、消化管疾患の病態と症状	肝炎、消化管疾患の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
11	アレルギー疾患、自己免疫疾患	アレルギー性疾患、自己免疫疾患の病態と症状	アレルギー性疾患、リウマチ、全身性エリテマトーデスなどの病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	
12	代謝疾患	メタボリックシンドローム、糖尿病の病態と症状	メタボリックシンドローム、糖尿病の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。	

13	腎疾患	ネフローゼ症候群、腎不全の病態と症状	ネフローゼ症候群、腎不全の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。
14	内分泌疾患	甲状腺疾患、視床下部疾患、下垂体前葉疾患の病態と症状	甲状腺疾患、視床下部疾患、下垂体前葉疾患の病態、検査、症状ならびにリハビリテーションの位置づけを理解できる。
15	まとめ(2)	まとめ	本講義で学んだ事柄について、それぞれ関連付けて説明することができる。
<b>評価方法</b>		筆記試験(100%)	
<b>教科図書</b>		永井 利幸ら, 病気がみえる vol.2 循環器, 株式会社メディックメディア 異 浩一郎ら, 病気がみえる vol.4 呼吸器, 株式会社メディックメディア	
<b>参考図書</b>		井村裕夫ら, 『わかりやすい内科学』, 文光堂, 【2014年】 福本 陽平ら, 病気がみえる vol.1 消化器, 株式会社メディックメディア, 【2016年】 橋詰 直孝ら, 病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌, 株式会社メディックメディア, 【2014年】 増田 亜希子ら, 病気がみえる vol.5 血液, 株式会社メディックメディア, 【2017年】 森尾 友宏ら, 病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症, 株式会社メディックメディア, 【2009年】 池森(上條)敦子ら, 病気がみえる vol.8 腎・泌尿器, 株式会社メディックメディア, 【2014年】	
<b>学習の準備</b>		特になし	
<b>オフィスアワー</b>		常勤講師は、在室時はいつでも可能。	
<b>担当教員欄に※印を附した教員の実務経験</b>			